

別府史談会

市外史跡探訪会 (佐伯市)

平成十四年(二〇〇二)十一月十六日(土)、別府史談会主催、平成十四年度市外史跡探訪会が行われた。参加者は三十八名。日清バスを利用して午前九時に新港町の花時計を出発し、大分自動車道を利用して佐伯市に向かった。途中、島節子理事による郷土史に関する歌の指導もあり、車内は楽しい雰囲気にも包まれた。

遺跡佐伯海軍航空隊

佐伯市に到着後、最初に(株)興人の敷地内にある元海軍航空隊の掩体壕(零戦用)を見学した。つぎに「佐伯市平和祈念館やわらぎ」へ行き、桧垣七郎館長、遠藤隆氏、赤松勇二氏から館内の説明を受けた。赤松氏は空母「加賀」の飛行機搭乗員をされた生き残りの勇士である。

館内は佐伯海軍航空隊の資料を中心にさまざまな戦時中の資料が展示されていた。また、「女性が担った銃後のくらし」展が開催されていて、見学した会員達の中には戦時中に想いを馳せる人もいた。

同館には別府の元料亭「なるみ」に残されていた海軍将官達の遺墨も保管されていた。同館の敷地内には「聯合艦隊機動部隊 真珠湾攻撃 発進之地」の石碑があり、山本五十六聯合艦隊司令長官ご子息の山本義正氏揮毫による碑文が記されている。石碑の傍らには「真珠湾攻撃に奮戦した退役軍人」と佐伯市民との友好の碑も建てられている。

史跡「鶴城」

史談会の会員達は平和祈念館やわらぎ敷地内で昼食を済ませ、「鶴城三の丸櫓門」へ向かった。ここでは、佐伯史談会・文化財調査員の山本保先生および佐伯市観光課職員の坪根哲さん、黒木洋さん、三名の出迎えを受ける。まず最初に三の丸櫓門前で全員の記念写真を撮影した。

山本保先生の説明を受けながら三の丸跡地、「櫓門」および文化会館前の「矢野龍溪顕彰碑」や「国木田独歩碑」等を見学した。

「独歩碑」から登山道「独歩の道」を歩んで城山山頂に向かった。一部の人々は登山の組と分れて、茶室「汲心亭」で抹茶と茶菓の接待を受けた。海拔百四十メートルの城山山頂は眺望絶景で、本丸跡、二の丸跡があり、独歩碑が建てられている。

城山を下って、再び山本先生の説明を聞きながら日本の道

百選に選ばれた「歴史と文学の道」を歩いた。白壁の土塀が続く旧藩時代の武家屋敷のたたずまいの中、「矢野龍溪生家跡」、文豪国木田独歩が寄寓していた「坂本邸（工事中）」、茶室「汲心亭」等を見学した。

最後に、旧藩主毛利家の菩提寺「養賢寺」と「歴代藩主の墓所」を見学し、往時を偲んだ。帰途、「道の駅やよい」に立ち寄り、再び大分自動車道を利用して、十七時三〇分頃、別府の花時計前に帰着した。楽しい一日であった。



平和祈念館やわらぎ



掩体壕



三の丸櫓門